

SSH通信

～第Ⅲ期 新しい挑戦を楽しもう！～

No.4 発行 2022.11.28

研究や活動に励んだ夏・発表の秋

令和4年度の夏、三高生はさまざまな研究や活動に取り組みました。そして、11月に行われたイノベーションフェスタで、その研究や活動の成果を発表しました。今回は、その模様や生徒たちの感想をお伝えします！

白神フィールドワーク 8月7日(日)～8月9日(火)

●奇跡の地、白神

私達は8月7日からの三日間、白神フィールドワークに参加しました。そこでは深浦町教育委員会の神林先生、弘前大学の鄒先生のご指導のもと、白神の大自然の観察、調査を行いました。一日目はブナ林の毎木調査と海、山の発光生物の観察を行いました。木々は一本一本に着目するとそれぞれ様々な成長をしており、我々と同じ生命の拍動を感じました。二日目は白神の地形の観察と磯の生態系の調査を行いました。瑠璃色に透き通る「青池」の美しさに息を呑みました。最終日には鄒先生に地形について解説していただき、三日間は終了です。多くの条件が揃ってできた白神という地の美しさに圧倒されてばかりでした。都会では得られない充実した経験となる三日間でした。(2年理数科 荒木龍之介)



●白神を振り返って

私達は8月7日から9日にかけて白神フィールドワークに参加してきました。今回、講師として来ていただいた深浦町診療所事務長の神林先生と弘前大学の鄒先生のご指導のもと、山ではブナ林で木々の太さのデータ測定や、ホタルの観察を行ったり、十二湖の地形や日本キャニオンについての説明をいただきながら間近で観察を行ったりし、海ではウミホタルの観察をしたり、磯の生物の観察やシュノーケリング体験を行ったりしました。線状降水帯の影響で少し内容の変更はありましたが、白神の自然が作り出した美しい風景や様々な動植物を観察することができ、非常に満足感のある3日間を過ごすことができました。(1年普通科 先崎 あかり)



南三陸フィールドワーク 8月12日(金)



●南三陸フィールドワークに参加して

私たちは8月12日に南三陸フィールドワークに参加し、南三陸町の豊かな自然を通して、様々なことを学びました。このフィールドワークでは志津川湾で干潟の生きものの調査をしたり、ウタツギヨリュウの発祥地である歌津で化石採集を行ったりしました。また、事後学習では、三高OBでもある南三陸ネイチャーセンター研究員の阿部拓三さんのご指導のもと、採取した生きものの種類の集計をデータ化するなどして、志津川湾に生息している生物について理解を深めることができました。このフィールドワークを通して、自然環境についての知識や関心を深めることができたので、とても有意義な体験になりました。このような貴重な体験を提供していただいた皆さまに感謝申し上げます。(2年普通科 高橋陸)

●南三陸で学んだこと

私たちは南三陸で干潟の生き物調査と化石採集体験を通し、たくさんの発見をしました。特に印象に残ったのは、集めた生き物の種同定です。阿部拓三さん含め南三陸ネイチャーセンターのスタッフの方々のサポートをいただきながら、一匹一匹を注意深く観察し、分類していました。短い時間での採集でしたが、14人で47種類もの生物を集めることができ、海には本当に多様な生物が生きていることがわかりました。また、拓三さんのお話によると、震災以降三陸の海の環境は激変したそうで、それは海の生物にとっていいことでもあるそうです。津波にはマイナスのイメージしかありませんでしたが、その考えが大きく変わった瞬間でした。(1年普通科 氏家早葵)



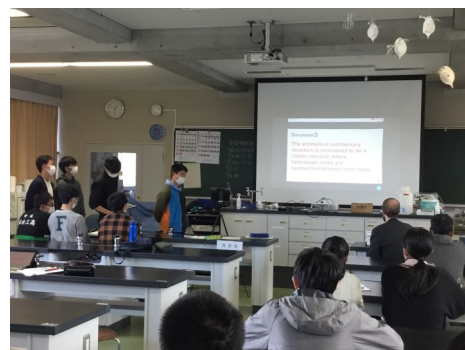
イノベーションフェスタ 11月8日(火)

2年生が主役となるイノベーションフェスタは、課題研究や探究活動の中間発表会です。2年生がポスター発表を行い、これまでの活動の成果を発表しました。Zoomで他校との学校間交流もあり、さらに理数科では英語での口頭発表もありました！

●イノベーションフェスタを通して

先日、イノベーションフェスタが行われました。開会式後、各校代表による完成度の高い発表が行われ、どの題も非常に興味深かったです。その後、課題研究ポスター発表として、各研究班がこれまでに進めてきた研究の成果を発表しました。積極的な質疑応答により、新たな課題の発見に繋がったのではないかと思います。午後からはALT、GLCの方々へ向けた課題研究の英語発表が行われました。リモートではない対面での英語プレゼンは初で緊張し、説明が伝わっているか等不安もありましたが、発表後には強い達成感を覚えました。今回のイノベーションフェスタで得た自信や、発見できた課題をもとにこれからの研究活動に取り組んでいきたいです。

(2年理数科 尾形真)



●イノフェスに参加して

私はポスターでの口頭発表と英語によるスライド発表でイノベーションフェスタに参加しました。緊張もありましたが、事前にたくさんの準備をし、今までの探究の成果を発揮することが出来ました。私がイノベーションフェスタで特に印象に残ったのは英語での発表です。「本当に内容が伝わるだろうか」と不安な気持ちがありましたが、本番ではたくさんのご質問を頂き、調査したことが英語でもちゃんと伝わったことを嬉しく感じました。また国の違いならではのご意見も頂き、とても参考になりました。今回得た学びを今後の探究に活かしていきたいです。

(2年普通科 梶原遥)



●好奇心の種はすぐそばに

イノベーションフェスタでは、三高だけではなく県内外からたくさんの学校が参加し、日々の研究結果を発表し合いました。実際に足を運んでいただいた学校と、オンラインがあったからこそ交流のできた学校と、それぞれの形で探究活動を通してお互いに学びを深めることができました。学校間交流、ポスター発表、英語口頭発表が行われ、いずれの場でも真剣に発表を聞き、活発な質疑応答がなされました。当イベントでは、私達の身近なものが研究テーマの主体になっており、そこから科学と結びつけて大きく発展させているものが多くありました。このように、身近なものに好奇心の種は散らばっているということを今回実感することができました。この感覚を来年の課題研究で大いに活かし、科学は面白いという感覚の輪をより広げていきたいと思っています。

(1年理数科 中村和)



●一年後の探究に向けて

今回のイノベーションフェスタでは、自分たちの今後の探究活動の参考になる発表を、先輩方のだけでなく、他校や大学院生の貴重なものまで見ることができ、とても充実した1日でした。どの発表もとても完成度の高いものでしたが、今後についての展望を言っていて、授業で言われた「探究に終わりはない」という意味を感じることができました。また、身近なことに目を向けた発表もあり、身近にも探究の素材があると知り、私たちの探究のテーマ決めの参考にもなりました。最後に、今回のイノベーションフェスタを期に1年後の自分たちの発表を意識したうえでこの先の探究活動に励んでいきたいと思っています。

(1年普通科 舟山航平)

これからの行事

1月 6日(金)	ひらめきサイエンスin宮城教育大学附属中学校	希望者
1月27日(金)	マラヤ大学とのzoomセッション	2年生理数
1月28日(土)	海洋教育フォーラムin仙台	希望者

宮城県仙台第三高等学校

仙台市宮城野区鶴ヶ谷1-19

TEL 022(251)1246

FAX 022(251)1247